京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

經濟的發展

三浪生

新たに統監の印綬を帶べる曾禰子は、韓國施政の大方針に關し、富源開發及一般經濟の發展を現下の急務と認め、横斷鐵道の敷設建成を治韓政綱中の最も重要なるものと爲し、既に之れが設計概算を完成し約二千万圓三箇年繼續事業として該豫算は來期議會に提出せらる可く内定し之れと同時に新統監は信用ある資本家の渡來投資の盛んならんことを望み、確實なる調査に基く實業家の起業に對しては適當なる奬勵法を講ずるに吝ならざる方針を執る可しと云ふ

吾儕は大体に於て曾禰子が第二期治韓政綱の要目は其經濟的發展にありと做せるに對し贊意を表するに吝ならず、過去數年間前統監伊藤公の精勵努力に依り政治的革新は略ぼ其緒に就くを得たりと雖も積弊の釐革大綱の總攬に急にして未だ專ら經濟的發展に力を致すの遑を有せざりき、然るに韓國の現状は紀綱日に張り秩序月に恢復し今や經濟的方面に多くの精力を集注し得可き機運に達したるが故に曾禰子が之を以て第二期治韓の眼目と爲せるは寔に時務に適切なるものと云ふ可し制度文物如何に燦然として人目を眩惑するも產業の發達富力の增進之に伴はずんば所謂砂上の樓閣たるを免れざればなり即ち民力の衰微疲弊殆んど其極に達せる韓國當局の急務は其經濟的啓發にあるや火を睹るよりも明かなり然りと雖も此喫緊の急務は之れを韓人の奮起に待つことは困難也勢ひ内地の有爲なる企業家と信用ある資本家の蹶起に俟たざる可からざる時に當り、統監府が適當の奬勵法を講じて之れを誘導するの必要を認めたるは吾儕の私かに喜ぶ所にして、寧ろ此必要を看取する其の甚だ遅かりしを憾まざるを得ず、何となれば統監府從來の態度が動もすれば内地企業家の活動飛躍を抑制する嫌ありたるは掩ふ可からざる事實にして、如斯退嬰固陋の態度に出でたる所以のものは一は韓國に一攫千金の奇利を夢見て放浪せる虚業家の跳梁跋扈を抑へんとして玉石共焚の過に陷れるものたるを疑はざるを得ず

要するに統監にして韓國富源の啓發が現下の急務にして此目的を達するが爲めに内地實業家の渡韓を必要なりとせば適當なる奬勵法を講ずるよりは寧ろ之に先立ちて利益の保障を講ぜざる可からず

文苑

●牽牛花●

ほうろふ

朝早く起きて牽牛花を見るのが僕の一番樂みだ、花に一種の生氣が迸て居るで何となく花のインスピレーションに打たれる感がする、花の色は赤より紫よりも白が一番に高尚で眞の美を發揮して居る樣に思はれる、而して鉢植よりも雜然と木や塀にからまり居る方が趣味ある樣に思はる、なるべくは塀井の近所にある方が嬉れしい、敢て千代女の歌のためでない。



第八席

中山大納言

桃川燕玉演

すると中山大納言愛親といふ御方は無二の勤王家で居らつしやる、越中殿の旅宿建仁寺へ御出になつて定信公と御對面をなされ「偖今度内裏御炎上に就て貴所禁裡御造營御用掛として上京を致されたが、已に慶長十九年徳川家康大阪の秀頼と戰を致し、何分大坂城を攻拔くことと相叶はず、故に和談致したき趣、其の扱を禁裏へ願ふ、其節京都から大阪に御沙汰になり、關東大坂和睦を致す、其翌元和元年再び戰となつて大坂の豐臣氏倒れて關東の徳川が天下一統した、其節家康から申上げたるには、此度關東大坂和睦相整ひ其節は、泰平の後速に大内裡造營をし奉るべくと堅く申上げてある、已に天下の大政を徳川家へ委任を致し世を治めること十一代、年を經ること百七十余年、只今に至つて關東に其沙汰のないと云ふは其意を得ぬ、已に只今迄の内裡は保元以來里内裡、全くの御造營でない、御手狹であらせられる、是は關東に於ても其邊に心付がありさうなもの、國帑の費を思召さるゝに依て京都に於ては別段關東へ御沙汰はないが、徳川家に於て其邊に心付かぬと云ふは一圓其意を得ぬ、貴公は和漢故實に通じ、博學多才の人物ゆへ勘考を致されるやうに、此度は大内裡御造營を致されるやう」中山大納言が坐り直つて越中殿へ申入れました時に越中守殿「仰せ如何にも御尤もにござりまする、併し武家は數多の知行を戴いて居るが、文武の二道を勵み所謂國を治めまする爲に悉く之を使ひ捨てまする、公卿方は誠に御不自由な御暮し御氣の毒には存じ奉るが、唯大内へ御奉公なされるだけの事であるから、先つ其れにても相濟むと申すもの、已に天下の大政を徳川家に御委任に相成つて、今日別段大内裡の必要は御坐るまいと承知いたす、古のやうに天下の政を大内に於て成されるならば大内裡も必要であらう天下の政治は武家へ御委任に相成つて別段に左のみ御手狹不都合を感ずるやうな事もござるまい、偶々大内裡造營を致す時には天下の士ども不審を懷き、如何なる異變を生ぜんも相知れぬ、是れ天下の御爲にも相成らぬ、故に越中大内裏は御造營致さゞる考、尤も只今迄の御所は餘り粗末にして且御手狹、御不自由は越中恐入るに依り、規模を改め、此度は及ぶだけ立派に致す考、就ては貴卿宜しく御指圖の儀を願ひたい、どうか小内裏にて御承知を下さるやうに」と云ふ、越中殿の御挨拶だ、成程是は越中樣の仰しやる所が一理ある、朝廷に於て天下の政治を御自身なさるなら大内裏も必要だが、皆樣府委せにしてある、今此處で京都へ大内裏を拵られば、王政復古、徳川家を倒すのではないか抔と、どう云ふ心得違ひの輩が疑を生じまいものでもないと云ふ、そこで中山大納言もなる程と打合點いて其日は御歸りになつた、是れから又此處を斯うして彼處をあゝしてと云ふ、越中殿へそれ〳〵御相談等がある、そこで出來をした新内裏、前方の内裏は甚だ粗末でございましたが、此時に越中殿が御造營をしたのは大分前々から見まするど好く出來た。是が爲に主上殊の外叡感ありて

殿つくり磨き立ちたる嬉しさの
心を見するやまと言の葉

と云ふ畏れ多くも一首の御製を賜りましたのは、餘程叡慮に適ひましたものと見ゆる、是は寛政の三年落成をして、十一月二十二日新内裡へ還幸を云ふことになる、是はまあ後の事、さて越中殿は諸用事も相濟みましたに依つて、愈々京都御立ちと云ふことになりますと、中山大納言が建仁寺の旅宿へ復た成られて「さて貴所へ申入れる一儀がある」と云ふのは當今の御實父は閑院宮で在らせられる、何分御實父を北面させて臣とする、御歎いかにも穩かならず、太政天皇の尊號を參らせやうと云ふ、是れ御孝心から出る所、宜しく關東將軍家に於て此等も計らひ奉るやう」越中守殿が「御尤もの仰せにございまするが、併し是は容易ならざる大事、只今即答の儀も相叶ひませぬが、宜しく御勘考を願ふ」と云つて中山殿に分れ、所司代松平和泉守に「又尊號の大事を御沙汰があるかも知れぬ、其時迂濶なる御返答をしては成らぬから、斯樣々々に御答をしろ」と所司代松平和泉守殿へ越中殿が委細を申付けて、京都發足、大阪へ出まして、先づ大阪の樣子を一通り御覽になると、なか〳〵大阪は物もち町人が澤山ございます、どうも市中の人民奢り增長をして居る、そこで越中樣から御觸が出た、料理屋へ登つて三人以上酒盛を致すことは堅く無用たるべしと云ふ。サア大阪の町人驚いた「江戸から厄介な御役人がやつて來て詰らない事を御觸れになる、料理屋に登つて三人以上列座をして酒盛をしては惡いそんな事ぢやア料理屋は飯は食へない、成程話に聞いた越中樣といふ人は恐ろしい吝い、自分が吝いから矢張りけち〳〵して居るのだらう、是は呆れたものや」と云ふ、大阪の人が驚いたのだから是は餘程酷かつたものと見ゆる。



京城新報

間島問題

始に脱兎の如く進み半途に至りて處女の如くなりとの世評を受けたる間島問題の交渉は今や懸案中にあり、其交渉の餘りに長きに亘りて決せざる爲に其間種々面倒なる事も起り、或は一犬虚を吠えて萬犬實を傳ふるが如き風說を生ずるものにして之が日清兩國の國際上に支障を與ふるのみならず、引て韓國の保護政治にも累を及ぼすことなきを保せず、一體間島問題は素より小なりと雖も、之が解決の躊躇なく遲延するに於ては其間に虚說流言傳はりて思はざるの大事を惹起することなしとは斷言す可らず、現に最近清國兵六千餘名を間島に派遣せられたりとの說あり、余輩は之が果して事實なりや將た一片の風說たるかを知るものに非ざるも、從來清國地方官憲の行動に顧れば或は此事なしと云ふ可らず、假令是を以て單に風說とするも決して喜ぶべき事に非ず、斯る風說の起り來るは畢竟其交渉の圓滿に運ばざるを意味すると共に間島に於ける兩國人の感情の融和を缺き、殊に韓國人の猜疑心深き斯る風說の傳はるや、其間に何等暗雲の横はるものあるが如くに想像し、殊更に聲を大にして公衆に宣傳し、以て國民に不安の念を抱かしめ暗に我保護政治に妨害を加へんとするものなきを保せず、此點より考ふれば間島問題解決の遲延は保護政治の施設に支障を受くること蓋し鮮少なりと云ふ可からず。

間島問題の起りしより我駐剳憲兵と清國兵と衝突したりとの報は余輩の屢々耳にせし所也、本月四日にも我憲兵が或る清人を逮捕せんとする際に清國兵之を妨害したる爲め衝突して相互に負傷者ありとの報ありたり、斯る報道の屢々來る所より察すれば間島に於ける兩國人の關係は頗る嫌惡すべき狀態にありと見做すも敢て不當と云ふ可らず、斯る狀態を以て永續するに於ては帝國の北韓北滿の經營に障害あるのみならず、終には國際關係に多大の支障を見るに至らむか。

間島問題の決せざるは北京政府の優柔不斷に依るならんが、一は邊疆の實情が中央政府に知悉されざるが爲也、之れ清國地方官憲の失態也、清國の地方官憲等には往々中央政府の政策に背反する行動をなす者なしとせず、安奉線問題と云ひ、吉長線問題と云ひ、地方官憲の爲に屢々惱まされたるに徴するも、然れども一面よりすれば我外交の拙なるが爲に在りや非ずや、要するに間島問題其者は小なりと雖も影響する所は頗る大也、當局者たるもの豈に邊疆の小問題として輕々に看過し去らば他日大禍を招くの悔あるべき也。

路透電報

▲佛新內閣成立 海軍廢敗事件に由り總辭職したる佛國內閣後任は前法相ブリアン氏首相の下に組織されたり(二十六日東京經由)

東京電報

▲梨本宮御入京 梨本宮殿下には二十五日馬關より直ちに宮島に着せられ二十九日御入京の由

▲滿韓鐵道合同 今回滿洲鐵道、韓國鐵道を滿鐵の管轄とし後藤總裁の直下に置くに決し右官制九月發表の筈なり

▲韓國新起工鐵道 別項韓國鐵道の外來春より平壤、鎭南浦、鳥致院全州、群山木浦に於ける各鐵道の布設經營に着手するに決定したり

▲滿鐵總裁の歸朝 南滿洲鐵道總裁中村是公氏は二十六日發至急歸朝の途に就けり

▲日糖事件と求刑 日糖事件に對する檢事の求刑は川島鑑夫は重禁錮六ヶ月、長谷川豐吉は十ヶ月、横井時雄、江崎禮二は執行猶豫其他は一審の通り論告さる

▲韓太子地方巡視 韓太子は八月二日東京出發東北及北海道に向はせらるゝにつき我天皇皇后兩陛下は旅程其他に就き叡慮にかけさせられ八月十二日北海道モンベツよりカツピ間は宮中馬車を供し御料牧場三日間滯在中は宮中にての賄ひをなし同時に馬術に關する御慰みを御覽に供する事となり藤波主馬頭は準備旁々近々出發北海道に向ふべし

▲新協約發表 司法權委任に關する日韓新協約全文五ヶ條廿四日正午外務省に於て發表したり實行期は數月後更に發表さるべし(以上二十四日發)

▲補育總裁被命 伊藤公爵は本日韓太子留學中に於ける補育總裁仰せ付らる(廿六日發)

雜報

の當套語にして國家に若痛を與ふるの意)の語を發する者なきに非ざるも是等は頗る少數にて殆んど齒牙に掛くるに足らざる由

權委任顛末を說述し且つ地方民が之を誤解して動搖を爲すが如き事なき樣注意すべしと訓示したる由なるが當日は趙農相も列席せりと

●間島の經營費

清國は間島經營に益鋭意熱心し彼は徐世昌の概算したる九十萬圓の經營にては事實上日韓の勢力を驅逐し得べきや否やに就き錫良は吉林度支部と協議の上間島事務官吳祿貞に精密の調査を命じ來りたるを以て各方面に亘り日本の設備に三倍せる豫算を編製中なりと

●統監の病狀良好

曾禰統監病氣の經過は頗る良好にして二十日朝の如き邸內を散歩する迄に至りたりと京城に報せり

●郡守推薦制度規定

內部にては郡守の推薦制度擴張に關する規定を起草し目下閣議に提出中なりと

●釜山民團の献上品

釜山民團より梨本宮兩殿下に奉贈せる物品は民團要覽と釜山港一般の寫眞(數十葉のアルバム)等にして目錄に添へ廿五日石原民長より献納せりと

●密陽の鮎獻上

南韓鮎の產地を以て名ある洛東江城密陽より今回同地御通過の梨本宮兩殿下に鮎を献上したりといふ

●韓銀條例の發布

兼て報導したる韓國銀行條例は廿七日の官報を以て發布の筈なるが豫記せし草案に一條を增加し四十九條より成れりといふ

●地方費支辨事業

地方費を以て支辨すべき事業は交通機關の完備勸業敎育の補助官衙小破修繕等なりと

●指定局長會議終了

通信管理局に於ける指定局長會議は去る二十四日を以て終了したるに依り各局長は夫れ〱歸任したりといふ

●新協約と警察權

韓國從來の警察は新協約第四條に依り日本官憲の命令に從ひ韓國の地方官廳及公吏は各其職務に應じ司法及監獄の事務に對して補助を爲す筈なれば警察權は現在制度に於て何等の支障なかるべしと

●市場稅の課稅方法

來る九月より實施さるべき地方費中の主なる市場稅の課稅は賣上高に準據するか若くは等級を設けて等級稅を賦課するかの二なるが賦課の課率は內部度支部合議の上決定すべしと

●觀察使會議と漢城府

去る二十二日內部にて開會せし府尹及觀察使會議にては漢城府の執務方針を議し官制に則り分課規定を設く可き事及び市區改正の件等に就き討議する所ありたりと

●李總理の訓示

李內閣總理大臣は廿五日午後一時十三道觀察使及張漢城府尹を首相官邸に召集し司法

雜報

●梨本宮殿下の禮詞

梨本宮兩殿下には去る廿四日釜山御出發の際左の禮詞を韓皇並に韓皇后へ宛て發せられたり

貴國滯在に際し兩陛下より懇到にして且永く忘る可からざる優遇を辱ふし感佩に堪へず今余及伊都子は貴國を離るゝに臨み謹て茲に深厚の謝意を表し併て貴皇室の康寧を祈る

●協約發表と韓人

去る廿四日を以て發布されたる司法及監獄事務委任に關する覺書交換に對する一般韓人反響は頗る平穩にして偶々痛罵(韓人間

●韓人法官の處分

新協約第二條に於て韓國人にして一定の資格を有する者は在韓國裁判所の官吏に任用することを得と明記しあるか這は現在の儘存續する筈にして現に法官を養成し居れる法官養成所の如きこれを學部の管轄と爲し以て法律家を養成せしむる方針なりと云ふ

●司法官の增員

新協約施行後現裁判所の擴張は當然のことなるが這は左まで急を要せざるものなるが差當り日本人の裁判施行に付ては現在法規の改正を行ひて三審共に判事を增加せざるべからず隨て一般に司法官の增員は免れざることにして又經費の增大を來すべしと

●期成會委員の訪問

既報の如く仁川築港期成會上京委員加來、顯原、秋田、稻田、伊東、加藤、靑木、桑野の諸氏は二十六日午前八時入京曾禰統監、石塚長官を訪問する筈の處統監は病氣長官は事務多忙の故を以て訪問を見合せ他の關係者及び關係官廳を歷訪したりと

●京城理事廳令達編纂

京城領事官設置以來發布されたる同領事館令、諭達、告示等にして現に効力を有する法規を加除訂正して昨年春一冊子とし且理事廳管轄區域圖を附錄とし配布したるが今回更に其後發布に係る廳令を追加し尚は附錄として緊要なる日韓關係條約及統監府令等を集錄し目下印刷中なりと

●法部經費の今後

日韓新協約に依り法部の廢止せらるゝと同時に韓國政府が之れに要したる經費は監獄を合せて約二百万圓なるが該費用は今後日本政府の負擔に歸することゝなりたるに就きては最早是等の費用を要せざることとなるが韓國政府は曾禰統監の所謂產業政策の費用に投ずることゝなるべく殊に交通政策等に充てらるゝことになるべしと云ふ尤も二百萬圓の內百三十万圓程は日本政府の借入金より支出し居れるものなれば日本の意嚮に依りて如何なるべきかは未定の問題なり

●民團の會計檢查

京城民團役所會計檢查委員は廿六日臨時會計檢査を行ひたるが別に違算なく無事終了せる由

●湖南線敷設の急務

曾禰統監の鐵道政策として三大線路を計劃せることは世人の既に知るところなるが京元線其他の內孰れを先に着手するやと云ふに某參與官の明言する處に依れば先づ湖南線より着手することになるべし同線は京元線に比し比較的產業に富めるを以て略ぼ之に一定し居れり云々と

●三道家屋稅調査額

平壤財務監督局管內に於ける平南、平北、黃海三道の家屋稅調查額は左の如し

平南 賦課戶數一萬一千六百五戶、稅額六千七百二十四圓九十錢、一戶平均五十七錢五厘

平北 賦課戶數七千六百四十三戶、稅額千七百九十九圓六十錢、一戶平均四十九錢七厘

黃海 賦課戶數一萬二千三百八十五戶、稅額七千五百五十五圓七十錢、一戶平均六十一錢

●清州日本人會議案

過般淸州日本人會にては臨時評議員會を開き前副會長松木彬氏就任の件を承認し其後任として元田元吉氏を撰擧し次で會費に關する件及學校新設の件を決議したるが學校建築費は一般日本人より募集する筈にて高等官は二十圓判任官及同待遇者は五圓以上とし人民は其財產の度合に依り前例に準して之れを募集する筈なりと

●民團の徵稅難

京城民團にては先日來年稅及月稅の滯納者に對し強制執行を行ひつゝあるも昨今の無景氣にて全然納稅の力なきもの少なからず甚だしきは家財を纏めて逃走せるものありて徵稅甚だ至難なりといふ

●頑固連の惡戲

李完用氏を補けて新協約を成立せしめたるは不都合なりとて從來朴齊純氏に屬望し居たる頑固黨連は其反動の結果朴氏を嫌忌すること甚しき由なるが此程死したる蛇を箱詰めとし朴內相の罪を數へて且つ近々高法相は之に死刑之宣告を與ふべしとの書簡を容れ函の表には「朴齊純之柩」と書したるものを送りし者ありたりと日韓電通は報せり

●貨幣發行高週報

一銀韓國總支店に於て本月十八日より二十四日迄に發行したる貨幣左の如し

第一銀行券總發行平均高	九、五一二、八〇〇
內 正貨準備發行額	三、二六五、七〇〇
保證準備發行高	六、二四七、一〇〇
銀行券平均手許有高	七一六、六八一
銀行券市場平均流通高	八、七九六、一一九
硬貨發行額(七月廿四日現在)	四、三六八、八〇〇
內 金貨二十圓	一、三五〇、〇〇〇
同十圓	五〇、〇〇〇
銀貨二十錢	七六三、〇〇〇
銀貨五十錢	六九三、〇〇〇
同十錢	四六八、五〇〇
白銅貨五錢	七八八、〇五〇
青銅貨一錢	一四二、〇三〇
同五厘	六三、七二〇
金貨五圓	五〇、〇〇〇

●六月末在庫額

六月末度支部關係の倉庫在庫額は左の如くなるが元來同月は市場不振の時にして市場殷盛の時は正に其倍額以上に上る由なるが當年は米價下落の爲め百姓の見越預けを爲すもの少なきに依り從つて入庫も少なく且百姓の購買力減少の爲め金巾紡績等の輸入を見ずといふ

共倉同庫會社	二九〇、八一四、七三三圓
同仁川出張所	三九、二八九、一一七
同平澤出張所	一八、〇九八、三一
同江景出張所	五三、九八六、八〇
天一南大門出張所	四二、一〇四、五〇
大邱政府倉庫	二五、四五〇、七二
水原同	一、二八一、五〇
開城同	三三八、〇〇
平壤同	一六、二〇八、七〇
光州同	一、一六一、五五
榮山浦同	三、二六七、六〇
計	四九二、〇二一、五八

●日韓電氣瓦斯近況

日韓電氣瓦斯の作業も大に進捗し第一期工事の鐵管埋設は十五間道路を京城古市町電鐵交叉點に及ぼし又舊市街の方も其一分に着手し居れるが工場の工事は九月中に竣成十月より開業の運に至るべきが今日迄正式に申込ありたるは京龍合計千八百餘內龍山舊市街七百戶にして點火用を主とし厨房用は未だ殆んど皆無なりと

●軍司令官の行程

去る廿四日梨本宮殿下御見送りを兼ね南韓守備隊視察の爲め釜山へ出張したる大久保軍司令官の行程は廿六日釜山發群山木浦全州馬山大邱太田の各守備隊を視察し來月八日歸任の筈なりと

●安藤院長の披露宴

既報の如く漢城病院長安藤一郞氏は二十四日午後七時より花月樓に於て同病院開業披露宴を催したるが來會者は吉原東拓副總裁市原一銀總支配人藤田醫軍部長北村軍醫正熊谷民長民團議員有志者新聞記者等六十餘名席定まるや安藤院長の挨拶に次で熊谷民長は同病院に就て將來の希望を述べ終つて北村軍醫正の答辭あり夫れより宴に移りたるが主客十二分の歡を盡して散會せしは午後十時過ぎなりき

●釜山の漁業出願數

釜山理事廳に於て取扱ひたる漁業の出願數は五月分二百四十件にして其稅額金七百三十八圓、六月分六十二件稅額百三十九圓四月以來の屆出漁業全部にて四百三件稅額一千三百九十九圓五十錢なりと

●湖南學會の總會

校洞湖南學會にては二十四日臨時總會を開き役員の改撰を行ひたる由

●荒井次官の東上期

荒井度支部次官は[illegible]銀創立に關する用務を帶び來月十日過河內書記官を從へ東上の事に決定したりと

●鍋島外務部長東上

鍋島統監府外務部長は廿五日東上す

●佐竹秘書官の歸任

梨本宮殿下御見送のため釜山に出張したる佐竹秘書官は二十六日午前歸任したり

●松井局長の歸任

梨本宮殿下御見送りの爲め釜山へ出張せし松井警務局長は廿日の夜行列車にて天安に着し溫陽に赴きしが廿七日歸任すべしと

●三浦理事官の避暑

三浦京城理事官は二十五日夜行にて避暑の爲め馬山に赴けり

●正誤

七月廿五日發行貴紙第百七十號雜報欄內佐賀鄉友會の献品の記事中小生夫妻同鄉友會を代表したる旨記載有之候得共右鄉友會を代表せしものは問繁太郞、釘本藤次郞、前田熊市、田代宗四郞の四氏に有之候間正誤相成度此段申込候也

七月廿五日 伊東祐侃

京城新報社御中

公人私人

▲ショテマ(オーストラリヤ、ニュジーランド新聞記者) 廿四日入京天眞樓

▲秋本豐之進(鎭南浦理事官) 山本へ投宿中廿五日開城へ

▲加藤新吉(元山郵便局長) 會議終了したる爲め同日歸任

▲長谷部言人(京大醫科大學敎授) 廿五日平壤へ

▲中原貞三郞(內部技監) 巴城館へ止宿中同日釜山へ

▲藤井新次郞(元山稅關鑑定掛) 廿五日入京三日月

▲室井德三郞(內閣法典調查局事務官)同上

▲中野與次(度支部事務官) 日本人地稅の件に就き廿六日群山全州へ出張

▲大久保雅彥(京城辯護士) 訴訟用を帶今夕群山へ

近事片々

▲炎帝● 猛威を逞ふし日中は殆ど蒸殺されんとする心地す從て片々の禿筆も亦た鈍る

▲官吏● 會社員夫々暑中休暇あり或は勤務時間を短縮せらる新聞記者には此恩典なし

▲併し● 新聞記者休業せば社會は暗黑たらむと自惚して氷片を噛みつゝ禿筆を走らす

▲統監● 政治開始以來費す所の金額は將に千五百万金也是決して少しと言ふ可らず

▲帝國● の勢望に加るに駐剳軍の聲援有て千五百万金を散ず何人と雖も快腕を揮はむ

▲曾禰● 統監の病氣は腎臟炎との說傳はり忽ちに取消され今は亦腦貧血也と傳說さる

▲其眞● 相の知れざる爲に種々に臆測せらる願はくは其眞相を知らせて安心せしめよ

▲折柄● 暑氣烈しく老体に障りなきや今や統監政治多事の日西湖大人幸に自重を祈る

▲韓美● 興業會社なるものあり日本雜貨排斥の目的に米國より雜貨輸入の計畫ありと

▲此會● 社は名の如く韓人と米人との合倂營業なるか借日貨排斥抔とは些と大袈裟也

▲日本● 雜貨は需用供給の理により輸入せらる一會社の爲に驅逐されるが如き事なし

▲南米● 亞爾然丁と保利比亞との確執は終に外交斷絕となる暑き時分の喧嘩異平御苦勞

▲巴爾● 幹半島と云ひ波斯と云ひモロッコと云ひ今南米に此事有喧嘩は世界に絕へぬ

▲米國● に於ては高平大使の歸朝は外相に榮轉の爲也と米人未だ日本の實狀を解せず

▲日本● 人材拂底なりと雖も豈夫高平醜男を以て外相とせずも他に幾多の人物ある也

▲プラ● タス島の談判もドウヤラ失敗の體之を蔽はんが爲に同島の價值なきを云々す

▲交涉● 思はしからざれば其者にケチを付るは醜ケ國の常手段是自屈的外交の特色か

▲佛國● 新內閣現內閣の法相ブリアン氏に依て組織せらると實權者はデルカッセに有

▲デル● カッセの捲土重來は獨逸の最も嫌ふ所也と併し佛人は概して排獨主義也

▲シャ● ートルにて空中飛行艇に乘じて結婚式を擧たる男女あり米國人は飽迄突飛也

平安北道にて先月より出張し居る本田技手及同地警察署は地方人民に諭して食用に供せざる行を注意し

●殿下渡韓紀念章佩用を准許されたり

●國民新報の發展 國民新報は今回新に

●城津の昨今の市況 市況は一般に不振なるも近來炭山及び雲母山を發見したるには

●滿洲に於ける官煙 我專賣局製造煙草は從來と雖も絶へず滿洲に於ける販路擴張に是等方面の擴張を計らんと欲し目下其計きつゝあるを以て斯くてはならじと此際大れる由

●熊谷民長の出發 熊谷京城民長は民團

民は其斃死せし牛肉を食用に供したる爲め遂に七名の死亡者を出したりと…農商工部 ●紀念章佩用准許 …殿院卿閔種默、…式官八名は今回我皇太子…由 …西號の活字使用を改め五段を六段に增加す …手顔目睫の間に迫り居れば料理屋の如きは日本人…嗜好は益々英米トラスト煙其他の外煙に傾…

●顧客を愚弄する丸京呉服店(六)

▲丸京に等しき商人又尠からず
▲前車の覆るを見て後車の戒めとせよ

▲杉本鹿太郎君 足下吾人足下の經營する丸京呉服店に筆誅を加ふる茲に六回今將に筆を收めんとして一言足下に注告する處あらんとす、吾人は足下を目して必ずしも惡徒視せず、只店務**紊亂の極**所謂苦し紛れの果種々なる奸手段を弄するに至りしや勿論なるも斯くの如き一時的彌縫策は遂に永遠の救濟に非らず、宜敷**處決**の上改めて着實なる營業を開始せよ、而して今一つは店員の一部を**解雇**するの事にあり、足下の商店が社會より指彈さるゝに至りし原因の一部は慥かに**店員**の**不埒に基因**せり現に某信用ある新聞社に宛てたる足下の書信に頗る**無禮**なる**文字**ありしとて社員の某氏は痛く憤慨し居たり是れ畢竟足下の眞意より出でたる者に非ずと之を認めたる店員が殊更に左樣なる惡文字を並べたる者にして之れ即ち前回も記せし如く足下の店員は足下が社會より排斥さるゝを喜び居れりと云ふ確證なり、足下大に鑑みる處あれ

▲一、杉本鹿太郎の養父忠三の妻コウは曾て廣島富士見樓の藝妓上りこれに關る面白き魂膽あり右の如き有樣にして此以外尚ほ多數あり、而して何れも委敷く**内容を示**し中には鼻持ちもならぬ程の**醜惡**記事あり、されど今回は反省の**餘地**を與ふる爲め大雅量を以て掲載を見合はし暫く今後の行動を監視し尚ほ改むる處なくんば再び筆硯を弄し愈々進んで**致命傷**を與ふ可きを豫告す(終り)

▲吾人本記事を掲載して以來日々數通若くは十數通の投書机上に集まり爲めに積んで山を爲し居れり、今其内容は一々掲ぐる遑なきも先づ大略左の如き者なり

一、本年春滅茶々々大割引として賣出したるも其間際に至り正札を二割增となしたれば其實一割引と同じ

一、去年五月福引抽籤二等に當籤し二圓五十錢以上の帶地を渡す筈なりしに如何なる人の勘定を乞ふも六十錢以上の價値なしと云ふ帶地を渡して悶着起る

一、丸京呉服店主は曾て廣島支店詰たりし際詐欺取財の疑僞にて未決檻に收容さる云々

一、廣島支店にて店員の信用保險を濫用せし内容云々

一、當地に於ける店員の義務貯金は未だ曾て解雇せし店員に與へし例なし、然かも店員は同店の前途を悲觀し何れも逃腰也

一、三十年以來數回の破産を爲し其都度問屋を踏倒すと同時に從來[illegible]強制し廣島の藝妓等にて差押を喰ひしもの數限りなし

一、福引賣出しの如き山師的行爲の目論見は常に支配人たる**小花の發案**にて而して結果の良好なる事一もなし小花は有名なる**破産男**にして彼れの主家にして倒産せしもの實に數軒あり

◎支那人の窃盜捕はる

▲兄弟共謀の質屋荒し

仁川府内韓人部落にある日本人質店に賊忍び質物を竊み去るもの二ケ月程以前より數件に及びたれば仁川署の日韓刑事は搜査に勤め居たるが現場の模樣より察する時は韓人か若しくは支那人の處爲らしきものありければ只管此の方面の搜査をなし居たる所數日前の夜平洞住質商綿見利三方に窃盜忍び入り例の如く質物を竊み去らんとした時しも利三が目を覺まし賊よ賊よと大聲を揚げたれば賊は此の聲に驚きたりけん取るものも取り敢ず一目散に雲霞と何れにか逃げ去りたる跡に支那人用の靴、ステッキ、團扇の三品遺留しありたれば右證據品を添へ警察に屆け出でたれば警察にては最初の鑑定に違はず支那人らしければ尚此の方面に搜査を嚴重になしたりさる程に仁川花村洞太田の別莊の裏手に、韓人と芝罘生れの官中奎(三五)同官中祥(三三)と稱する兄弟の支那人同居する一家ありて此の支那人は常に外出勝なりとのことを探知したれば刑事は事に托して弟官中祥の妻某に前記遺留品を見せ若し夫の所持品にあらずやと尋ねたる所三品共に夫祥の所持品なりと申立てたれば刑事は即刻前記二名の支那人を本署に同行し巡捕廳に引き渡したりと尚ほ官兄弟の罪狀に就いては後報すべし

●主家に忍入る

群馬縣北甘樂郡富岡町八番地平民村上幸七(三六)は本月十六日當地永樂町七十四番戶の三活版業藤井岩四郎方へ再三懇願して弟子の目的にて雇はれしに同二十日に至り自ら請ふて解雇となりしに同夜同家の井戶側の横手に忍び居りしを認められて遁走し其翌夜も又同樣其翌夜も又同樣忍び込み捕はれて南部署に突出されて取調べを受けしが同人は無一文にて泊るに宿なき故夜明かしの爲め入り込みたりと述べしも現に懷に三圓餘の金を所持せる爲め窃盜未遂として留置さる

●小大工の只飲

南大門通一丁目和田方大工職竹内熊吉(三四)は昨二十六日午前一時十分長谷川町清國人料理店西須樓に至り五十錢分の飲食を爲したるも所持金なく仕拂出來ざる爲め主人より警官に訴へ出でしかば巡査は張せしも酩酊して前後を辯へざるにぞ南部署に同行し一夜留置き翌朝に至り親方たる和田より右金を支拂ひて事濟

●空家に聲あり

昨二十六日午前二時頃旭町一丁目より同二丁目に通ずる路沿に建設せる大村保太郎所有の空家の戶を開き内庭には草鞋が脫ぎ捨てあるのみならず鼾きへ聞ゆるにぞ巡回の巡査が訝りて搜索したるに全羅南道光州生れの國永花(二五)なる者寢ね居たれば其儘南部署に引致す

●裸体で迂路突く

本町五丁目早瀬組車夫岡砂九一(二七)は昨二十六日午前一時過ぎ大に酩酊して同組北米倉町出張所に至り亂暴を働きしかば同所の車夫等寄合つて縛めんとせしを飛出し裸体の儘南大門通一丁目を徘徊し居たるを巡査に認められて南部署に同行告發せらる

●精神病者の自殺

南部明禮坊明洞五十三統七戶金景瑞(五三)は豫て精神病に罹り居たるが去る二十五日午後三時四十分自宅井戶側にて煙草切用小刀を以て前頭部の中央を横さまに氣管並に脈管を切斷して其儘井中に轉落して自殺を遂げたりと

●邦人射殺さる

去る二十三日午前十時頃京畿道楊州郡即面洞石隅里を距る西方約五里の地點にて賊徒の爲め日本人二名射殺されたる旨菓子職西田某より急報あり上等兵一補助員二名現場へ急行したりと

●投書の披露

本町六丁目の郵便所が不埒なるに關し左の如き投書ありたり

拜呈仕候突然ながら本町六丁目郵便所が所員皆官吏氣取りにて言語質に横柄にして事務は大に敏を缺ぎ親切は素より毫もなく爲に附近の住民は殆んど閉口致居候間何卒貴社の御力に依り暴横を逞せざる樣に相改め公衆に向て親切なる可樣なる樣御計ひ願上候若し御注告ありて改めざれば此不得所員の非行も申上候得共先づそれ迄差控居候也右御依賴申上候

●賃金支拂の嚴命

仁川港繋留の團平船好德丸神野某と云ふは數日前雇韓人に賃金不支拂の廉に由り警官の說諭を受けたるにも不拘一昨日に至るも尚右韓人に賃金を與へざりしかば再び說諭を加へられたる上即時三圓の支拂を嚴命せられたり

●ヨボ同志の擲合

仁川花島居住薪炭商吳先達(五八)及柤峴住薪炭商安辯心(四三)は一昨日午後四時頃仲町二丁目道路にて七錢五厘の貸借上のことより爭論をなし果ては摑み合ひの喧嘩を始めたるを巡行中の警官に見附けられ大目玉を頂戴せり

●劇場で金を拾つ

仁川宮町三丁目松尾伊太郎方燈臺局員高橋勘左衛門の妻ちよと云ふは一昨夜歌舞伎座にて一圓八十錢を掏摸に取られたか遺失したか兎に角無くしたことを屆け出づ

●花人拍子の廢業

新町第一樓支店の花人事東京淺草區光月町一番地高野たま(二十)は年期を終り昨日限り廢業

●近刊の滑稽新聞

今回月刊を改めて週刊となし其第一着として昨日發刊されたるは十五字詰六段にして色刷りとなし編輯とはいはず廣告と云はず体裁能く整ひ記事又頗る痛快を極む龍山榮町の同社發行定價一ケ月三十錢

●呉服物出張販賣

東京日本橋本石町ちゝぶや事關根呉服店にては去る二十五日より當地南山町巴城館に出張し夏物新柄品の見切り大販賣を爲し居れるが中々盛況也と

●山口呉服店大賣出

本町四丁目山口呉服店は當地に於ける老舗中の老舗にて其確實なる營業振りは普く人の知る處なるが今回一層業務を擴張せん爲め來る八月上旬より店舖の改築に掛り其間休業する爲め昨二十六日より大賣出しを開始したり同店此度の大賣出しは改築休業の爲め夏物の時季を失するより臨時に爲すものなれば從來有りふれたる大賣出しと異り非常の英斷を以て破格の大安賣を爲しつゝあれば顧客は此好機を逸せずドシ〳〵押寄すべし早いものが勝なり

●來社せよ

米倉町八一の五君御申越の件に付面談致度至急來社あれ

●社告

京城市内で音樂其他遊藝等の教授を爲す人は至急其住所を御一報あれ相當紹介の勞を執るべし

京城新報社

仁川料理屋評判記

京城の暑さに堪へ兼ね凉風吹きすさむ仁川へと落ち延び鮮魚の滋味たるを割きて舌鼓を打つの果報物も今日此頃は中々多き樣子なれば今同地の大料理店に於ける評判を紹介せんに先づ風通しが能く見晴らしも又第一等で其上爺が大坊主が朝市で選り拔いたる肴を調理する事とて尤も評判の宜いのは鱗樓である但し近來名花凋落して藝妓の振はないのは殘念で▲土地が高いのと海岸に近い爲め最も涼しいのは八坂樓だ之れも又藝妓が餘り振はぬ▲一時全盛を唄はれたる淺間樓も伊藤公の轉任と共に統監府側の御ヒイキ筋が減じたので又前日の如き勢ひもなく藝妓も續々京城邊へ鞍替への運動中なりとは氣の毒の至りなるが併し建物の大きな丈け大宴會杯は矢張り此樓に限られて居る▲料理や席は話しにならぬが藝妓の數の多きと又チョンゴシなのは一富士が第一等である▲榮亭は新築で席の新らしいのと一寸料理が甘いので割合に評判が宜しい▲右の外閑靜にして頗る涼しく調理の新らしいのと其上價が馬鹿に安いのとで上等客の隱れ遊び最も多きは、やよいである藝妓も檢番を通じて何處からでも聘るそうだ(評判男)



◀平民文庫▶

▲宇佐川總裁は徒歩主義の實行者と思ひしに殿下御出發當日は腕車を驅つて居られた主義撤廢と云ふ譯けか(波手奈)▲若林總監は何時もフロックコートにシルクハツトで往來せらるゝが査公の巳れに敬禮をするのを見ると御自分も擧手の禮をせらるゝ習慣性だらうがシルクハツトにフロックコートで擧手の禮は一寸可笑しく見へる(小使)▲貴新聞の丸京征伐大に痛快なり斯の如き事は爲さるまいと思つて居た丈け更に痛快である、丸京も大に反省して可なりである(一食客)▲旭町の素人角力は木戶錢なしで見られるのですか(角力好)▲木戶錢はないのですよ營業ぢやないから併し制限なしに人は容れられないから觀覽券は配付せられた、だから夫れがなければ見られないた氣の毒さま(小僧)▲龍山元町三丁目柳やと云ふ料理店の酌婦は往來で客を引張つて居る、ソシて此れを遠征と名けて居る酌婦は三名居る(中納言)▲學問もあり智能もあり地位も人望もある人で存外人格の低いのがある左樣かと思ふと人力車を曳く人にも敬服すべき人格を備へて居る人もある(觀世音)▲長谷川町の九州樓の○○さんは廿三日の夜三人連の客に一圓宛持つて居るなら泊つて行つてれ呉んな妾が二十錢は足すからサアと云つて居た(立聞生)▲龍山榮町植西呉服店では廿二日の夜未だ九時にもならないのに番頭と主人さんが揃ひも揃つて店頭に大の字形に寢て居た其樣に眠むければ店を閉めてから寢なさい(忠告子)▲南山湯で丸京の主人が貴社の惡口を云つて居たが誰れも本當には爲ないが自己の非を棚に上げて不埒な奴です(入浴者)▲御親切に有り難う、併し私共の方では存じて居ります、本日の丸京の記事を御覽下さい(係)▲不審生君よ先日は御親切に時計の止て居るに付御心配の樣子君の注告に對し此頃時計も動き出した故御安心下され(明治町エスエー生)▲能知生君よ君は京城一の物知りである武力屋の時計は中の器械も有る決して体裁でない何時でも明治町を御通りの節は實見せよ僕の察する處君が体裁計りの事をする故人までも体裁に掛けて居ると思ふと見當が違ふぞよ(同上)▲屁を放つた瞬も閉まぬ暑哉(万字)▲汚ないなモ少し清潔の處を願う(係)



●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丸に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候

▲無料紹介欄▼

人事部

●中等敎育有る廿七の青年報酬多きを不望會社、商店に雇はれたし 氏名在社(三〇一)
●年卅五多年電氣工務(又簿記精通)の經驗有り市内保證人有り相當職に雇はれたし 氏名在社(三〇二)
●被履度 簿記に精通の中等敎育ある二十才の青年會社銀行店舖等被履度給料不望保證人あり 氏名在社(三〇四)
●小僧 用 十四歲以上十七歲以下のもの一名至急入用委細面談大漢門前遠藤洋服店
●下女入用 十六七歲より廿三四歲迄のもの數名入用 南大門通 紅葉
●行商人募集 石油行商人二十五歲以下身体強壯志想堅實勞働を厭はず忍耐力ある者本人來談 龍山元町三日韓組(三〇七)
●英文代書 通譯飜譯 本町一の七五中村
●商品販賣員募集 午前十時前希望者本人來談あれ 本町一、三巴酒店裏武田質店(四一〇)

物件部

●夏向露店 旭町一民團役所燒跡附近にて夏向恰好の露店二箇所あり希望者は至急申込まれ 氏名在社(二九五)
●電話格安賣物あり 氏名在社(二九六)
●電話讓渡 格安又は月賦讓渡の相談に應ず 氏名在社(三〇〇)
●遊戲機械廿臺○繩撚機械○藁打機械一臺安價に賣却す大和町一の二一九 渡邊方山本
●中古寫眞器一揃一個格安に賣却したし 氏名在社(三〇六)
●地所賣却 第一銀行建築場に接近せる大道目貫の場所に有望なる地所家屋賣物あり 本町一の七五 中村
●醫士開業向貸家あり 本町三丁目 贊化堂藥局(四一二)
●賣却 理料店向長谷川町二の一九目貫の場所家賃十五圓道具一切格安讓渡たし如何なる相談にも應ず長谷川町二の一九二井田

廣告



梅毒 ばいどく
りんびやう
リウマチス
新藥 しんやく
毒滅 どくめつ
梅毒を下し一切のはれものを根治す
各驅黴院實驗證明
本舖 大阪 森下博藥房
各藥店にあり



完全ナル懐中藥
THE JINTAN
仁丹 ジンタン
醫學博士三輪井上兩先生御方劑
御證明
發行所 森下博藥房
各地藥店にあり

代理店
京城南大門通三丁目 新井藥房本店
京城本町三丁目(電話四七八番) 新井藥房第一分店
京城南大門外 新井藥房第二分店

○●○●○●○
消閑之淸遊
毎日午後 開會諸君 予陸續御臨を賜へ
京城明治町二丁目
京城碁會
(大和湯前〇万隣)
市中之仙境
○●○●○●○

處方調劑の依頼に應ず

京城南大門通三丁目
新井藥房本店
藥劑師 小松禎三

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す 弊場夙に此に留意し好良の食料を給す
●弊場搾取の牛乳を受飲せらるゝ御諸君は最も滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし



販賣元 京城本町五丁目(電四七番) 松尾支店
搾取所 京城東四軒町(電七五番) 松尾牧場

韓官衙御用品調達

營業科目

和洋紙類
印刷附屬品
印刷インキ
和洋書籍
防腐デシン
穀物食鹽
諸染料類

各學校御用品調達

委託販賣

東京 ランバーダ商會代理店
東京 中外アスファルト株式會社代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 韓國鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町一丁目十番地 電話新橋三九六二

支店開設披露

今回左記の所へ支店開設致し候に付開業披露として左の如く割引販賣候條御愍命願上候

自六月十五日 至八月十四日 六十日間

金銀懷中時計各種
掛置時計各種 一割五分引
附屬品一切
外に貴金屬附屬品に限り五分引

時計自轉車小賣部 京城本町二丁目 喜多金光堂支店(電話架設中)
時計自轉車卸部 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店(電話七百五番)

明治廿年七月創立

東京火災海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓
京城代辨店 本町四 山口呉服店 電話九番
事務所 京城本町二の三 電話一〇六〇番

登錄商標

外用 治癢藥 ぢさうやく
塗擦

最大瓶 一圓二十錢
大瓶 六十錢
中瓶 三十五錢
小瓶 二十五錢

○せんしんたむし○なまず○せにがさ○ひんきんたむし○しらくも○くさかぶり○みずむし○ひぜんがさ○がんがさ○しもやけ○うるしまけ

其他皮膚病一切に特効あり

右は弊店世に傳ふる處の靈藥にして皮膚病一切に用ひて卓効あり從來此に幸福を得たるもの數頗る多し今回大方諸君子の懇請默しがたく材料を精選し較近の醫學に照らし加味鹽梅調劑を正確にし官許を得弘く世に發賣せんとす世の皮膚病に患める士女願はくは一度本劑を試用し効果の顯著なるを御實驗御高評の程奉願上候

調劑發賣元 仁風堂浦尾きち
韓國京城南部壽町一丁目浦尾旅館



京城大和町二丁目の出橋 藤井出張店

本店 東京

東京

正札付 大安賣

厘も引なし

安心して買へ升

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客様に對しては叮嚀親切を旨こし調理の儀は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目
原金旅館
(電話長一〇七番)



京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島壽藏
(電話四百十二番)

胃腸消化新劑

澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白脂肪消化 ヂゲスチン

錠劑十日分(三十粒入一瓶)二十錢
散劑一オンス入(一瓶)二十錢
錠劑十日分(三十粒入一瓶)三十錢
散錠一オンス入(一瓶)一圓四十錢

右は最近内地に於て急激の需用を來たしたる名聲嘖々たる世界無比の理想的絕品にして所謂賣藥には無之候
各地有名なる藥店に於て販賣す

●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

元祖 消毒 殺菌
牛乳 千山牧場
京城大和町壹丁目
電話一三三

荒物世帶道具一切
大阪 〈合〉製白絞油 和洋蠟燭
和傘 岐阜提灯 魚釣道具
卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替證付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目錄御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帶道具
各國諸油米穀
銘酒澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒
並に買次業

〈西〉
京城本町六丁目
西崎嘉七本店
電話長二一〇 電略(ニカヌ以ニ)
振替貯金口座東京(九四一七番)

本店 内地 大阪、兵庫、仁川、大邱
支店 韓國 京城、釜山、元山、城津、鎭南浦、木浦、群山、平壤、馬山、咸興、鏡城
出張所 京城、伏見、開城
出張所 清國 安東縣

東京市日本橋區兜町
横濱、神戸、名古屋、四日市、下關
大阪西區、東京新大阪町

株式會社 第一銀行韓國總支店

電話番號
長第一三一番 國庫部、發行部、營業課、當直用
第三一一番 國庫部、發行部、營業課用
第六一二番 支配人、調査部、文書課用
第三二三番 用度係、分析所用
臨時建築部用

右の外内外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

代書
京城本町二丁目 南部警察署前
成巧館代書部

ゴム印彫刻
成巧館彫刻部

〈大〉 〈合〉 〈萬〉

自製特約販賣

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、〈正〉精酢、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候

名譽銀牌受領
キリンビール

▲淸潔の下宿▼
客室の淸潔こ調理の美味こ御扱の懇切こを特色こして下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路(元花屋跡)
▲懇切の下宿▼
かめ屋

南門湯横に病院新築中に付き本月末移轉開院す

梅毒專門
皮膚病一般
痔 注射療法(不要入院)
京城南大門朝市場櫻家旅館内
神戸資生院長
出張診察所
電話三百十二番
院長府立大坂病院專攻
元兵庫縣立福原驅梅病院醫長
醫學得業士 蘆田耕平
○資力乏しき病者には割引又は施療を爲す

韓國政府特定御用
消毒 殺菌
京城 牛乳 荒井牧場
電話一〇五六

朝鮮郵船株式會社
仁川 出帆廣告

釜山長崎門司神戸行
山東丸 八月一日午後三時出帆
大連、太沽、牛莊行
高砂丸 八月五日正午時限
大連、大沽、牛莊行
山東丸 八月 日午前五時出帆
大連、大沽、牛莊行
酒田丸 八月 日正午
釜山出帆、元山、城津、淸津、雄基行
立神丸 七月二十八日午後

注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

仁川海岸通 電話三九番
貨物及船客取扱店
郡回漕店

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金金付五十錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回五十錢 廣告五號活字十九字詰一行金六十錢

發行兼編輯人 秋山忠三郞
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西部皇華坊小門通 京城新報社
電話六六三番